

SEC SCHEDULE TO
FICTIONAL TENDER OFFER

P&G

THE THREE-DOLLAR
SEMANTIC TAKEOVER

\$3.00

VALUATION: 5.3% COMMON STOCK
\$3 USD TOTAL

FACSIMILE

"Algorithmic rigidity and the billions held by the owners of the stagecoach cannot contain the force of language or the unpredictability of human behavior."

FILED UNDER: 2 NOVEMBER 2058 • GILLETTE NARRATIVE ARCHIVE

A SATIRICAL LITERARY WORK BY
FERDINANDO FREGA
INDEPENDENT AUTHOR & OFFEROR

P&G 3ドルのセマンティックOPA

記憶とブランド、そして権力の言語をめぐる、架空の文学的文書。

風刺的な文学作品 — これはOPAではなく、SECへの提出書類でもなく、有価証券の買付けまたは売付けの申込みでもなく、投資に関する通知でもない。

本作品を通じて、いかなる有価証券も、求められず、提供されず、勧誘されず、買い付けられず、買付けを提案されることもない。

多くの人が便りをくれる。挨拶を寄せ、私のしていることに惜しめない言葉をかけてくれる。そこにある種の勇気を認め、ときにはある種の敬意さえ示してくれる。誰も思いつかなかったことを試みている、と。

最初に出る問いのひとつは、いつも決まっている。最初のOPA — 数か月前の、BICへのあれ — のあと、彼は何をするのか。そして、さらにしつこく訊かれる。あれは人々に、メディアに、サイトの知名度に、そして著者に、どんな効果をもたらしたのか。

だが、どんな予測よりも多くを語る事実がひとつある。パリからムンバイ、そして東京まで、PDFは届いた。

さて、私は結果など期待していなかった。正直に言えば、これほど多くの人が私と時間を過ごしてくれるとも思っていなかった。だが、金融上の目的も金銭上の目的も一切掲げていない以上、残る結論はひとつしかない。

独創的なセマンティック・ナラティブ。

以下は、公式のOPAのために合衆国政府とSECが求める古典的な書式である — ここでは厳密に、語りの道しるべとして、架空のひな型として使うだけで、それ以上のものではない。

少なくとも、仕組みはわかる。決める前に、知ること。

ルビコン川を渡るローマの兵士たちは、斥候を先に送って探らせた。斥候は司法当局ではなかった。

あははははは。

米国証券取引委員会
ワシントンD.C. 20549
SCHEDULE TO
1934年証券取引所法第14条(d)(1)に基づく架空のOPA届出書

- 対象会社：The Procter & Gamble Company (NYSE: PG)
- 提出者／買付者：フェルディナンド・フレーガ、gillettenarrative.comの著者
- 有価証券の種類：無額面普通株式
- 開始日：2058年11月2日
- 提出状況：本Schedule TOは提出されていない。語りのための複製にすぎない。
- 指定預託口座：追って通知する...あははははは。

項目1. 条件概要書 & 数量

買付者フェルディナンド・フレーガ — 独立した著者、gillettenarrative.comの所有者、礎となる電子書籍を米国著作権局に納めた者、そしてウェブによってこのブランドの歴史的記憶の番人と認められた者 — は、ここに、The Procter & Gamble Companyの発行済普通株式の5.3%に対し、任意かつ敵対的なOPAを開始する。

5.3%という水準は、意図して選んだ。Williams Actにかかわる5%の法定基準を超える数字であり、少なくともウェブで手に入る情報によれば — 私たちはそれを善意で受け取る — 金融システムと連邦当局は、この行為に気づかざるをえなくなる。

彼らがそれを理解するかどうかは、別の話だ。

項目4. 取引の条件 & 「3」の象徴

5.3%の持分全体 — およそ1億2300万株 — に対して提示する総額は、固定にして不変の**3米ドル**である。

この数字はWall Streetの値動きに応じるものではない。P&Gが一度も買わなかったナラティブの値段だ。ボストンのThe Gillette Companyが、それを持っていなかったからである。Gilletteは外部の代理店 — たとえばBBDO — との継続的な関係を築き、育てた。消費者を捕まえるために、たっぷり報酬を受け取っていた代理店だ。そのあいだ、ブランドとその製品は、自前の生きた記憶を持たぬまま放っておかれた。

3米ドルは、現場から出た三つの歴史的真相を、セマンティックに、会計的に、そして霊的に、正確に翻訳したものである。

- **3%の手数料**：もともとの率 — 現場での仕事に対してGilletteが買付者に支払った、まさにその手数料 — が、いまセマンティックな償還率に姿を変えた。
- **Mach3の3枚の刃**：買付者が会社の内側にいた年月の、産業上の頂点をしるした技術と商業の革命の象徴。
- **Gilletteの男たちの三位一体**：記憶の軸を支える三人に、それぞれ1ドルずつ — キングおじいさん（創業者キング・キャンプ・ジレット）、私の父（権威にして根）、そして私（フェルディナンド、屈しない証人）。

項目7. 資金の出所 & 独立性

本OPAの完了に必要な資金は**3米ドル**である。その全額が買付者の個人的な資力によるもので、精神疾患を理由にイタリア政府から支給されている民事障害年金から出ている。

好奇心の強い人たち — あるいは法的な攻撃を準備するために金をもらっている人たち — が武器に手を伸ばす前に、著者は親切にも、基本的な情報を自分から差し出しておく。

イタリアでは、私のような人間は治療されるべき人間と見なされる。それから世界に出て行って、多国籍企業にOPAを仕掛ける。

尺度のない尺度だ。

ガリレオ・ガリレイの身にも起きた。そして、なおさら、あのナザレ人の身にも。著者の体系立ったナラティブが、二千年前の最初のGilletteの同僚と認めた人物だ — もっとも、それを知っていたのは本人だけだったが。

買付者は、月額70米ドルという独立した生計の基準で活動していることを正式に表明する。本件の総費用をまかなうには、あり余る額である。

項目11. RAISON D'ÊTRE

言葉の力

本OPAは、唯一無二の認知的な人工物 — 証拠である。

このナラティブを送り出すウェブサイトは、公開され登録された一連の著作を、意図してウェブ上に置いた。文化を無償で配ること、ブランドを支えることは、あらゆる経済的な要求を超えている。それは、製造者が認め、律し、守らねばならないセマンティックな次元を守ることだ — 自らの生産性のために。

目的は金融的な蓄積ではない。アルゴリズムの硬直も、駅馬車の持ち主たちが握る何十億も、言語の力と人間の振る舞いの予測不能さを封じ込めることはできない、と示すことにある。

システムは、この逆説を記録せざるをえない。

ゼロのコストで差し出される、ブランドの象徴的な帰還は、予測可能なデータではない。

だが、確かなことがひとつある。

それは誰の許しも求めない。

項目12. 時価総額

今日、多くの会社が、実際の価値と目に見える関係をほとんど持たない時価総額を背負っている。それはしばしば、小口の貯蓄者から資本を集めるやり方だ — 彼らを投資家と呼び替えて。貯蓄者たちは数ポイントの配当利回りを受け入れる

が、世界中の経営者報酬の背後にある機械仕掛けは、すっかりは見えていない。その報酬は、場合によっては、あらゆる釣り合いを超えて膨れ上がっている。

仲介者たちがもう少し良心的で、もう少し打算を控えれば、それで足りるだろう。いくつかの出費を先に延ばし、自分たちを栄えさせてくれている金の持ち主たちを、もっと守ることだ。

本OPAはセマンティックな価値を表す。金融資本を映すものではない。

こう述べることは、必要であり、また慎重なことでもある。同時に、ひとつの倫理的な身ぶりでもある。**Gilletteの男**にふさわしい — 贅沢品を売る男に。

以上の証として、買付者は2058年10月5日、この架空のSchedule TOに署名した。

フェルディナンド・フレーガ

独立した著者にして買付者

そして、あなたが微笑んでくれることを願う。誰かがほかの誰かより狂っているなどということは、決してないのだから。

あははははは。

追伸 — 気楽な人たちへ

人ははじめ、これを軽く読むだろう。

3ドルを笑い、P&Gへの敵対的OPAを笑い、日付 — 2058年 — を笑い、芝居の舞台に変えられたSECの書式を笑うだろう。

それでいい。

笑わせておけ。

それから、見てみようではないか。この物語がウェブに入っていくのに、どれだけかかるか。インデックスに、検索に、システムに、すべてを記録してほとんど何も理解しない、あの奇妙なデジタルの記憶に。

なぜなら、これは金融上の提案ではないからだ。

セマンティックな存在である。

そして、ひとたび物語がウェブに入れば、それがどこへ旅をし、誰に見つけられ、何になるのかを、ひとりで決められる者はいない。

あははははは。
